

雇用改善コーナー

平成26年度 石川県建設産業雇用改善推進大会の開催

平成26年度石川県建設産業雇用改善推進大会は、11月10日(月)午後1時30分から石川県建設総合センター7階大ホールにおいて開催され関係者200名が参加した。

大会第一部の式典では、主催者挨拶として、石川県知事 代理 中西吉明副知事、石川労働局 高淵憲一局長、(一社)石川県建設業協会 北川義信会長の順で行われ、北川会長は「本県における建設産業の雇用改善は各位の努力により着実に改善しているが、依然として高齢化や



会場全景写真

若年労働者不足が続いている。特に次代を担う若年者の確保と育成が急務であり、業界あげて魅力ある環境づくりに取り組み、雇用の改善に取り組んでゆく必要がある。」と挨拶。

続いて来賓挨拶では金沢市からは八田 誠金沢市経済局長が市長代理として、また、北陸地方整備局金沢河川国道事務所からは向田 満副所長が所長代理として祝辞を述べた。

大会はこの後表彰式に移り、本年度の建設業の雇用改善に功労があった優良事業所の表彰が行われた他、建設産業人材確保・育成推進協議会が募集する応募作文「私たちの主張」では会員企業に働く2名の若者がまた、「高校生の作文コンクール」では県内の工業系高校生4名に県建設業協会会長奨励賞が伝達された。

なお、「私たちの主張」で受賞の2名は表彰終了後それぞれの作品の朗読披露を行った。

第二部の記念講演は、国土交通省顧問(前・国土交通事務次官)の増田優一氏(能美市出身)が「建設

主催者あいさつ



中西副知事



高淵労働局長



北川協会長

来賓あいさつ



八田金沢市経済局長



向田金沢河川事務所副所長

産業の活性化と地方創生」と題して講演し、「超人材不足の社会にあり、人こそ重要な資源」と指摘し、災害や、施設の老朽化、東京五輪等の対応から公共投資の必要性にふれ、官民一体となった人材確保を推進する必要から、受注者と発注者関係をフラットにし、相互信頼関係を築いてゆく必要があると講演した。

なお、本大会において表彰された優良事業所、「私たちの主張」「高校生の作文コンクール」の受賞者と作品名については次の通り。

優良事業所等の表彰

- ・石川県知事表彰 北陸地建(株)(代表者 松栄武次郎) 巻建設(株)(代表者 巻 一久)
- ・(一社)石川県建設業協会会長表彰
石川建設工業(株)(代表者 寺田茂行) 北浜建設(株)(代表者 清田信昭)
(株)ヨネミツ(代表者 加藤正人) (株)大河組(代表者 河上公輝)
(株)杉本工務店(代表者 杉本 茂)

応募作文表彰

- ・「私たちの主張」(一社)石川県建設業協会会長奨励賞
中本 光哉((株)金沢舗道) 作品名「先生からの一言」
濱田 良平(北川ヒューテック(株)) 作品名「達成感が味わえる仕事」
- ・「高校生の作文コンクール」(一社)石川県建設業協会会長奨励賞
上田 康太(金沢市立工業高校建築科3年) 作品名「建設業に就職した場合の5年後、10年後の自分」
山形 啓泰(金沢市立工業高校土木科2年) 作品名「好きな建物・構造物 あるいは将来作りたい建物等」
青山 諒牙(県立小松工業高校建築土木科土木コース3年)
作品名「建設業に就職した場合の5年後、10年後の自分」
矢田奈津美(県立羽咋工業高校建設造形科建築コース3年)
作品名「好きな建物・構造物 あるいは将来作りたい建物等」

記念講演



増田優一国土交通省顧問講演風景

建築工事の職人不足、資材高騰に関する緊急調査の実施について

(一社)石川県建設業協会(会長 北川義信)では、建築委員会及び地区協会の建築部会員を対象に「建築工事の職人不足、資材高騰に関する緊急調査」を9月に実施した。

回答は54社からもたらされ、「足りている」、「ギリギリ足りている」、「やや不足している」、「不足している」の4段階に分類した。

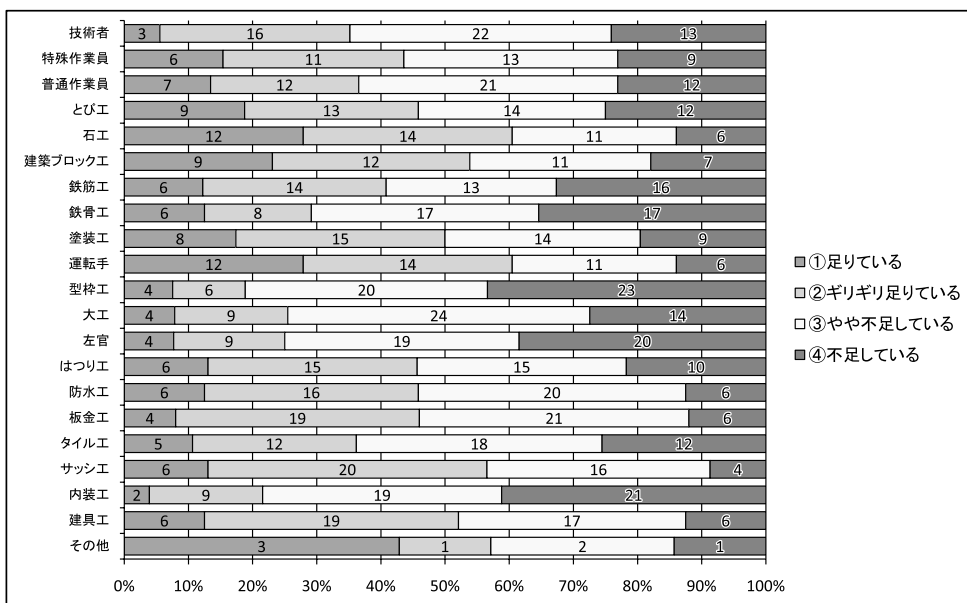
職人不足については、鉄骨工、型枠工、大工、左官、内装工が「やや不足している」と「不足している」を加えると7割を超えており、不足感が感じられる。また、技術者、特殊作業員、普通作業員、とび工、鉄筋工、塗装工、運転手、はつり工、防水工、板金工、タイル工でも不足気味となっている。

資材では、生コンクリート、型枠、鉄筋、鉄骨をはじめ殆どの資材が「足りている」と「ギリギリ足りている」を加えると7割以上を超えており、資材に対するひっ迫感は薄れている。

また、「発注者、行政に対する要望」への回答企業の自由意見の中では、「労務単価や資材費の高騰に見合った適正な価格での発注」が多く希望されており、このほかに「適正な工期の設定」、「発注時期の平準化」、「法定福利費の適正な計上」なども希望されている。

職人不足に対しては、「若者の建設業離れや過疎化等の複数の要因があるようなので、地道な募集活動や協力会社への増員を依頼している」、「早めの工程確認や手配で対応している」の声が聞かれた。

技術者、職人の不足状況



資材の不足状況

